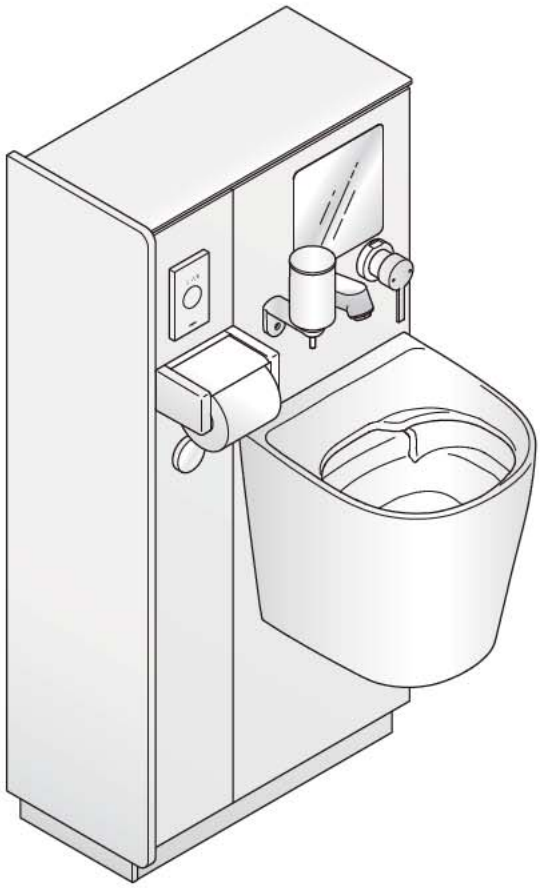
TOTO

施工説明書

コンパクトオストメイトパック

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やちらしをご確認のうえ、正しく取り付けてください。



※ イラストはRタイプの場合です。

情報編 3～18

1. 安全上のご注意 4
2. 取付前の確認 6
3. 部品の確認 15

手順編 19～51

動画を見る

施工の流れ

当社のウェブサイトから、施工動画がご確認いただけます。

※通信料がかかります。
※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

工事店様へ

□取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入し、必ずお客様にお渡しください。
また、使用方法も説明してください。
手渡しできない場合は、工事完了後目立つ場所に置いてください。

情報編

1. 安全上のご注意 ▶4

2. 取付前の確認 ▶6

1	全体構成	6
2	全体寸法	7
3	必要工具・部材	8
4	取付下地の確認、固定材の準備	9
5	配管、電源・コンセントの準備	10

3. 部品の確認 ▶15

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

🛇	してはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠警告

分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない
火災や感電の原因となります。

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない
破損してやけど・けがをしたり、水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

水場使用禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。

アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

禁止

指定する電源（交流100V）以外では使用しない
火災の原因となります。

ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。

電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない
火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

通電中は電源線、および電源端子台には絶対に触れない
感電の原因となります。

洗浄ボタンや電源プラグ・配線部および端子台・スイッチやコンセント部などの電気製品に水をかけたり、ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。

湯水を逆に配管しない
水を出そうとした際に湯が出てやけどの原因となります。

指定以外の商品と組み合わせて施工しない
商品の破損、落下による、けがの原因となります。

必ず守る

工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する
商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。

電気関連部品の保守点検を行う場合は、必ず充電源（分電盤ブレーカーもしくは、コンセントを抜く）を切って作業を行う
感電の原因となります。

⚠ 警告

必ず守る

コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

アンカーやプラグなどの下穴は指定径のドリルで所定の深さであけ、ダストポンプを使用して、必ず穴の中の切粉を除去する
固定強度不足のため、けがをするおそれがあります。

商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する
商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
水漏れにより、感電、または、建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

壁への設置は下地に合った固定を確実に行う
固定強度不足のためけがをするおそれがあります。

取付部には所定の下地を設ける
強度不足のため、けがをするおそれがあります。

機器の設置は専門業者が行う
また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者（電気工事士）が行う
火災や感電の原因となります。水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。

＜電気温水器なし仕様の場合＞
必ず同梱のサーモスタットを取り付ける
熱湯をシングルレバーに直接接続しない
水栓から熱湯が出て、やけどの原因となります。

⚠ 注意

禁止

止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない
水が噴き出し、建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

商品に強い力や衝撃を与えない
故障したり水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

排水パッキンの取り付けにはグリスを使用しない
劣化して水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

パッキンを傷つけたり異常な変形をさせない
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

陶器取付用のねじをきつく締めすぎない
陶器が割れ、けがをするおそれがあります。

甲板や各器具のうえに乗ったりしない
故障やけがの原因となります。

給水ホースが破損するようなことをしない
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない
給水ホースが破損し、水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する
取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

作業時手袋、防じんマスクなど適切な防護具を使用する
予期せずけがをするおそれがあります。

凍結のおそれがある場合は、必ず凍結予防のため保温処理（保温材巻、電気ヒーターなど）を行う
凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

汚物流しの持ち運びや取り付けは必ず2人以上で行う
腰を痛めたり、けがをするおそれがあります。

ジャバラを無理に曲げないように設置する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

カットした面は滑らかに仕上げる
滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。

商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する
商品が倒れたり落下してけがの原因となります。

各器具の補修を行う場合は、水漏れ防止のため必ず元バルブを締めて作業を行う
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2.取付前の確認

❶ **施工や運搬、清掃時に触れる可能性がある金属類は、陶器と接触しないようにする**
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。

❷ **本商品はいくつかの仕様の組み合わせがあるため必ず、施工される製品仕様を事前にそれぞれ確認すること**
※特に①～③の項目に関しては、事前準備・施工手順などが変わってきますので、仕様を間違えないように注意してください。
（④の仕様違いでは事前準備・施工手順は変わりません。）

【製品仕様】
①セットタンク使用水質:『水道水仕様』もしくは『再生水仕様』
②左右タイプ:『R タイプ（汚物流し右寄せ）』もしくは『L タイプ（汚物流し左寄せ）』
※次ページの図面を確認してください。
③電気温水器:『電気温水器なし』もしくは『電気温水器あり（おまかせ節電あり）』もしくは『電気温水器あり（おまかせ節電なし）』
④陶器・紙巻器の色:『#SC1 パステルアイボリー』もしくは『#NW1 ホワイト』

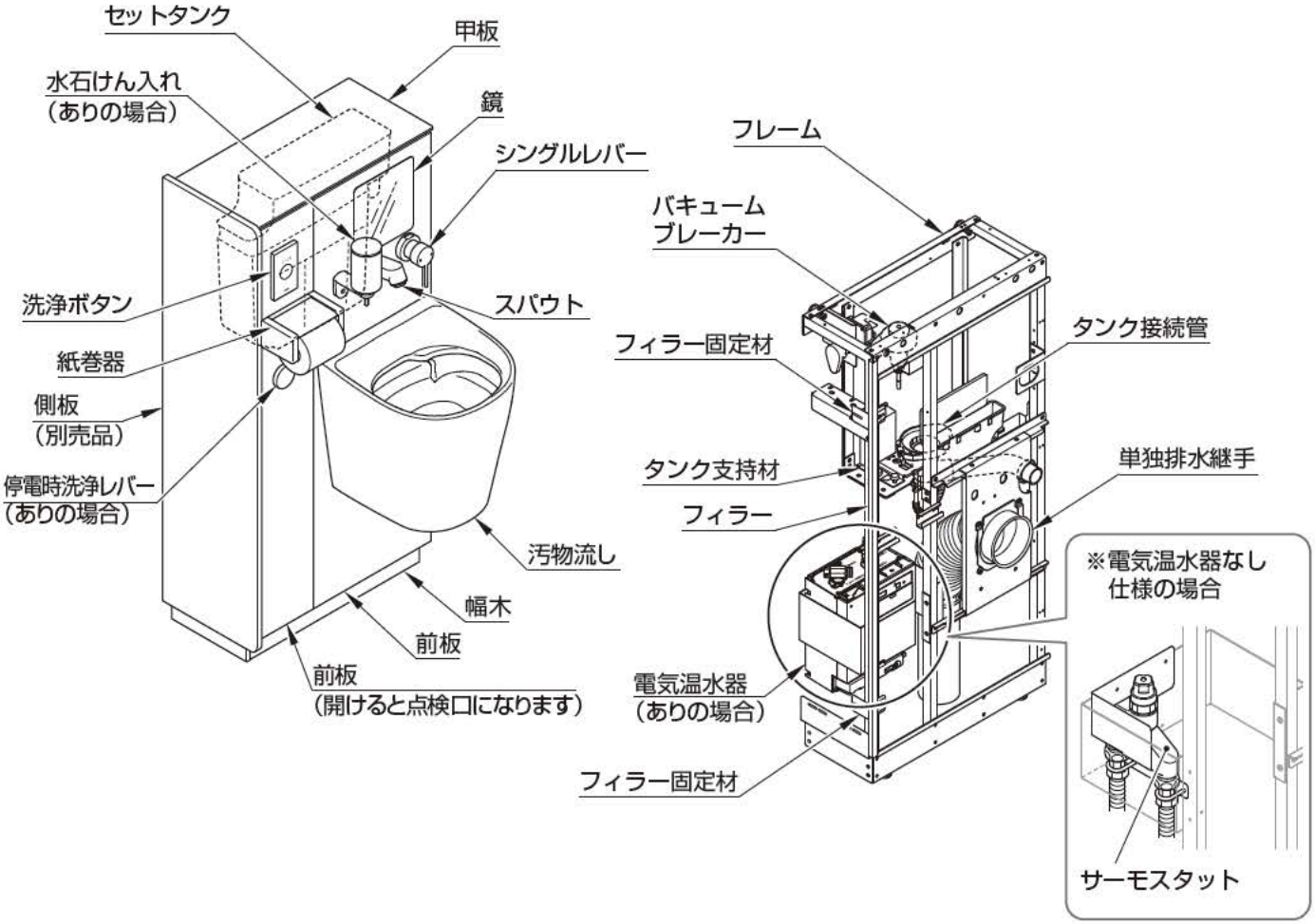
❸ **本商品および、本商品に取り付ける器具の商品図・事前施工情報を必ず確認し、取付位置や取付下地など施工条件を事前に確認する**
※特に、床・壁の傾き、倒れがないことや、配管の立ち上げ位置を確認してください。

❹ **不具合があった場合は責任者の方と調整し、不具合を解消後に取り付ける**

❺ **電気温水器あり仕様の場合は、電気温水器に同梱の施工説明書も参照すること**

❻ **本施工説明書では、注記なき場合はRタイプの場合を記載 Lタイプの場合も本施工説明書に準じて施工すること**

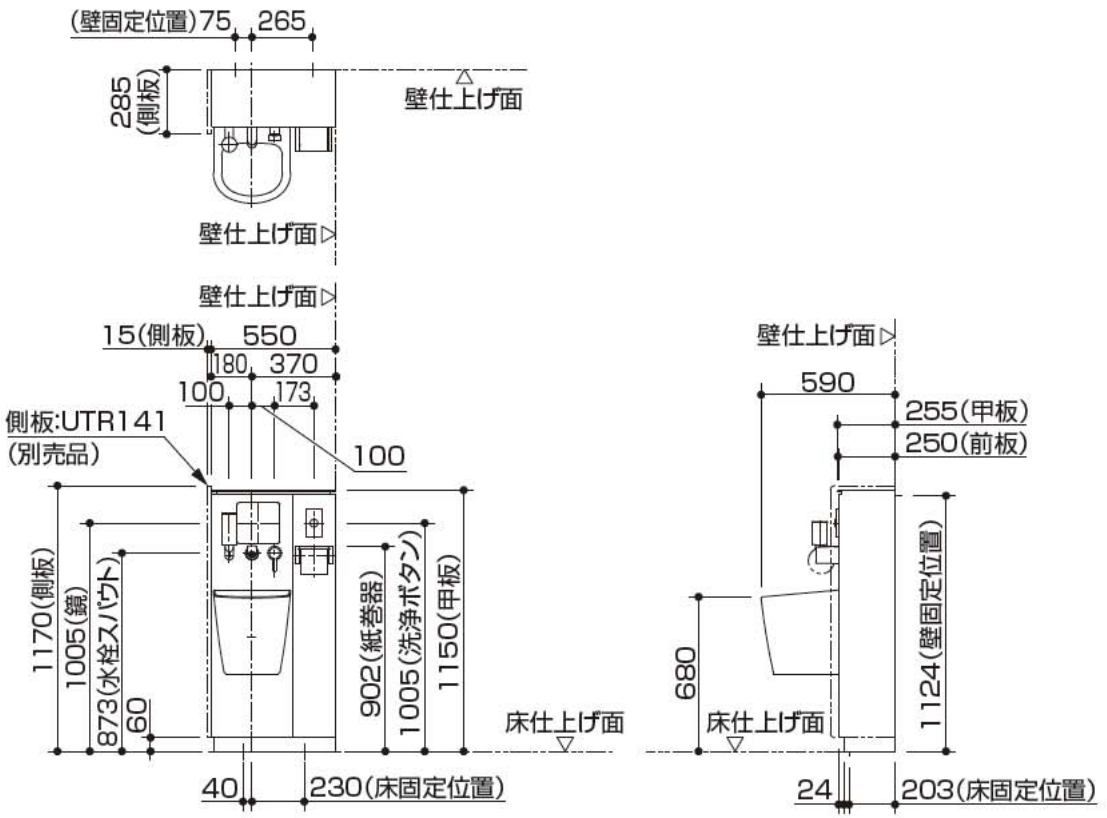
1 全体構成



2 全体寸法

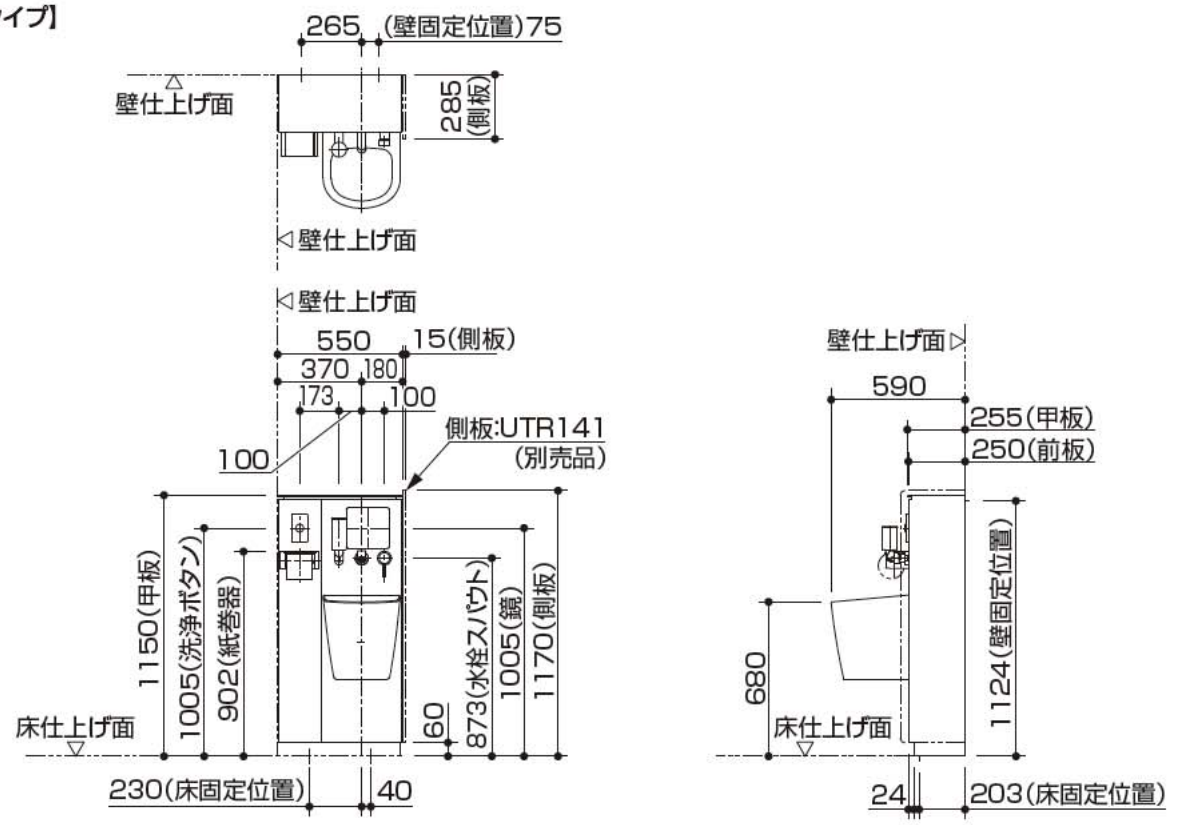
※P.6の製品仕様①、③、④の仕様違いでは、外観に違いはありません。

【Lタイプ】



※本図は向かって左側に側板を設置した場合の想定をしています。右側に側板を設置することも可能です。
※向かって左側に側板を設置する場合、壁とのすき間が95mm以上必要です。

【Rタイプ】



※本図は向かって右側に側板を設置した場合の想定をしています。左側に側板を設置することも可能です。
※向かって右側に側板を設置する場合、壁とのすき間が95mm以上必要です。

3 必要工具・部材

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。

振動ドリル

電動ドリル

コンクリート用ドリル
φ8(樹脂プラグ下穴用)
木工用ドリル
φ3(合板下地、紙巻器、水石けん入れ下穴用)

ダストポンプ

ソケットレンチ
メガネレンチ

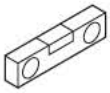
六角棒レンチ
サイズ:対辺(2.5mm、3mm)

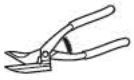
電動ドライバー
ビットサイズ:#2、#3

250mm以上の
ロングビット

金やすり

モンキーレンチ


水平器
(磁石付・150mm以下のもの)


金切りばさみ
切断能力…ステンレス板0.8mm

シリコーン系シール剤

プラスドライバー
#2(65mm・200mm)

脱脂用アルコール

ウエス

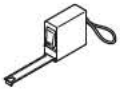
えんぴつ

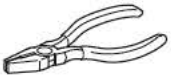
ジグソー
刃は新建材用または木工用超硬刃

レーザー墨出器

下げ振り

モーターレンチ


コンベックス


ペンチ

MEMO

4 取付下地の確認、固定材の準備

取付下地などに不具合があった場合は責任者の方と調整し、解消後に取り付けてください。

■床固定

床下地	床固定材		
コンクリート （仕上げ材の厚み10mm以内）	樹脂プラグ （下穴φ8 深さ:仕上げ厚＋55mm以上）		フレームに同梱

■壁固定　本書記載の合板はJAS規格品となります。

壁下地	壁固定材		
コンクリート （仕上げ材の厚み10mm以内）	樹脂プラグ （下穴φ8 深さ:仕上げ厚＋55mm以上）		フレームに同梱
鋼製下地＋耐水合板 （t12以上）	トラスタッピンねじφ5×50		フレームに同梱

※上記以外の下地の場合、別途現場で固定部材を用意してください。

MEMO

5 配管、電源・コンセントの準備

商品図、以下に記載する事前施工情報などを参照して、配管工事、電気工事を行ってください。

- **正しい位置に設置されていることを商品図・事前施工情報を参照して確認する**
- **電気工事は関連する安全法規に従って有資格者が行う**

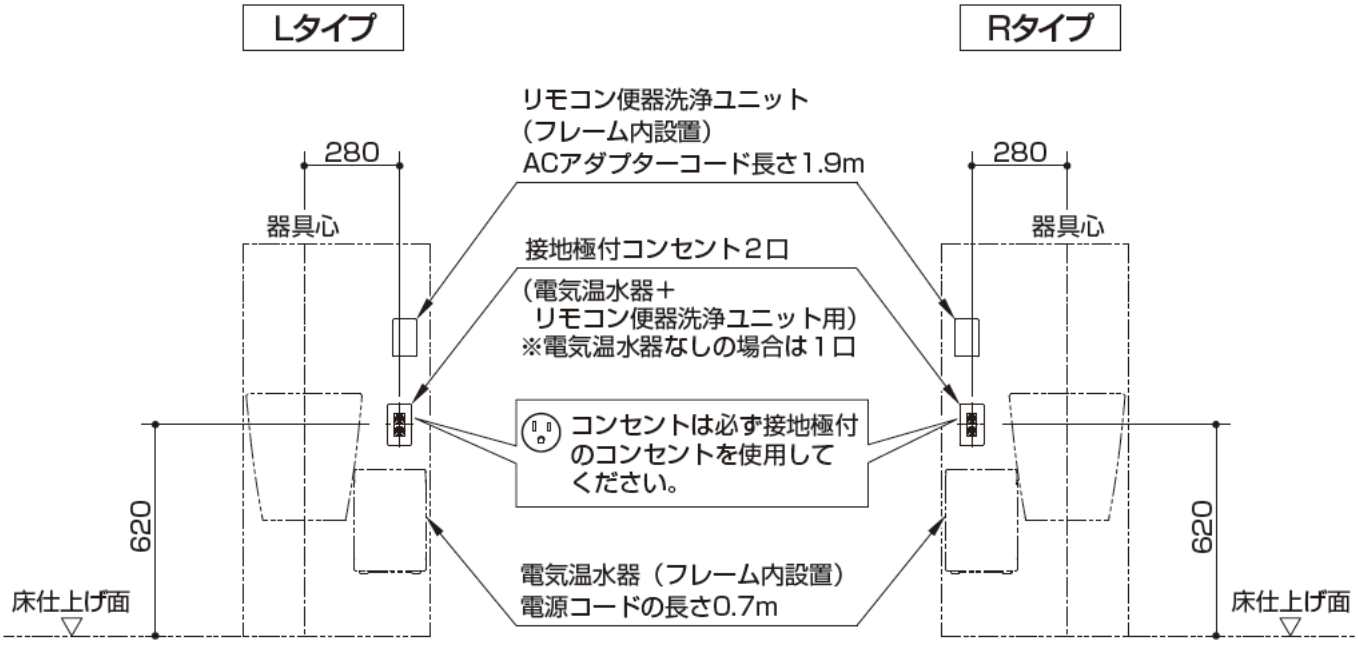
給排水配管、電源・コンセントを所定の位置に取り出し、設置します。

■事前施工情報　電気工事

各器具の消費電力を確認のうえ、以下の電気工事を行ってください。
コンセント、電気配線部材は商品に含まれておりません。別途現場にて用意してください。

●リモコン便器洗浄ユニット用コンセント
AC100V 50/60Hz
定格消費電力:常時1W、駆動時30W以下

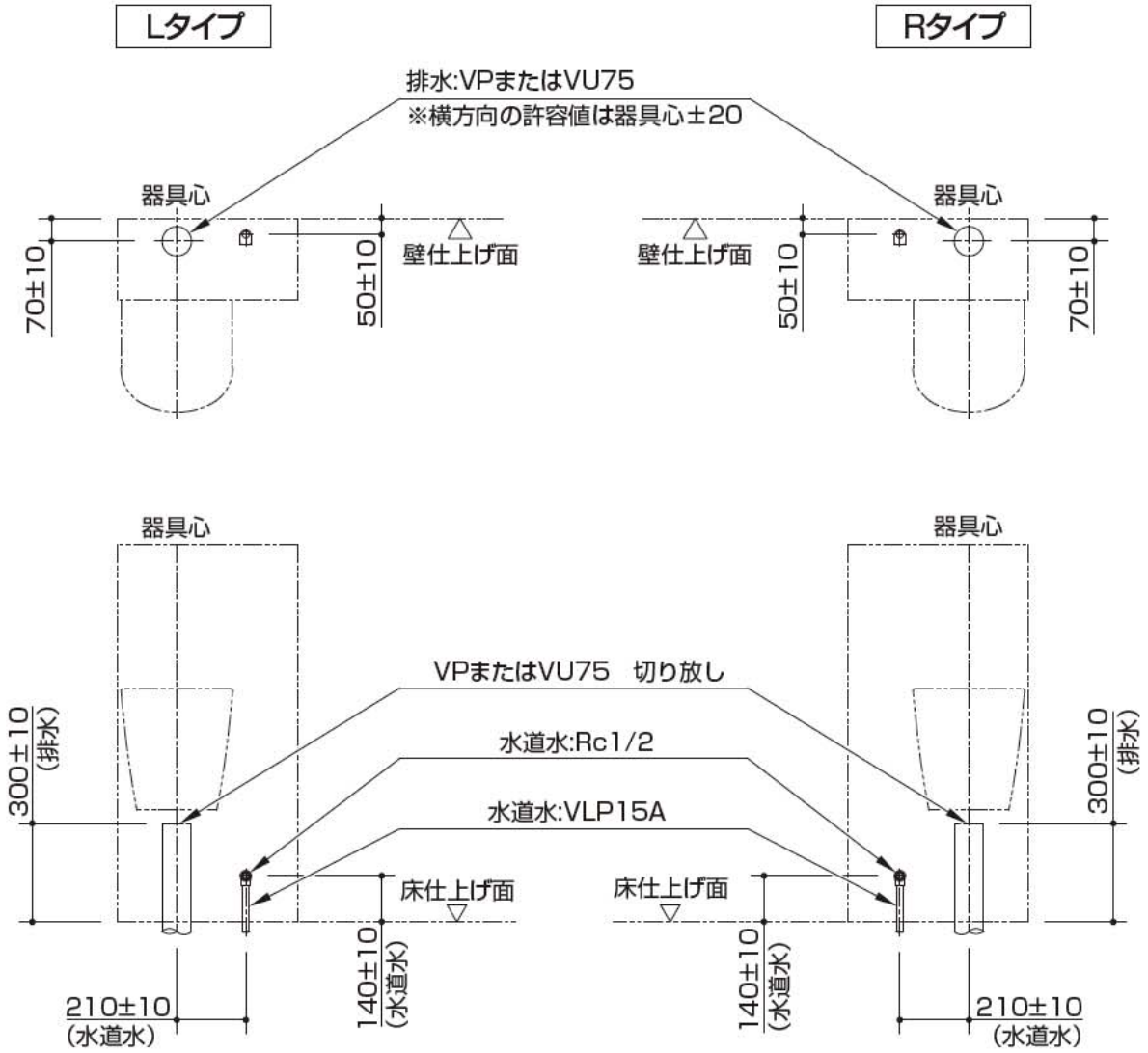
●電気温水器用コンセント(電気温水器あり仕様の場合のみ必要)
AC100V 50/60Hz 定格消費電力:600W



■事前施工情報　配管工事

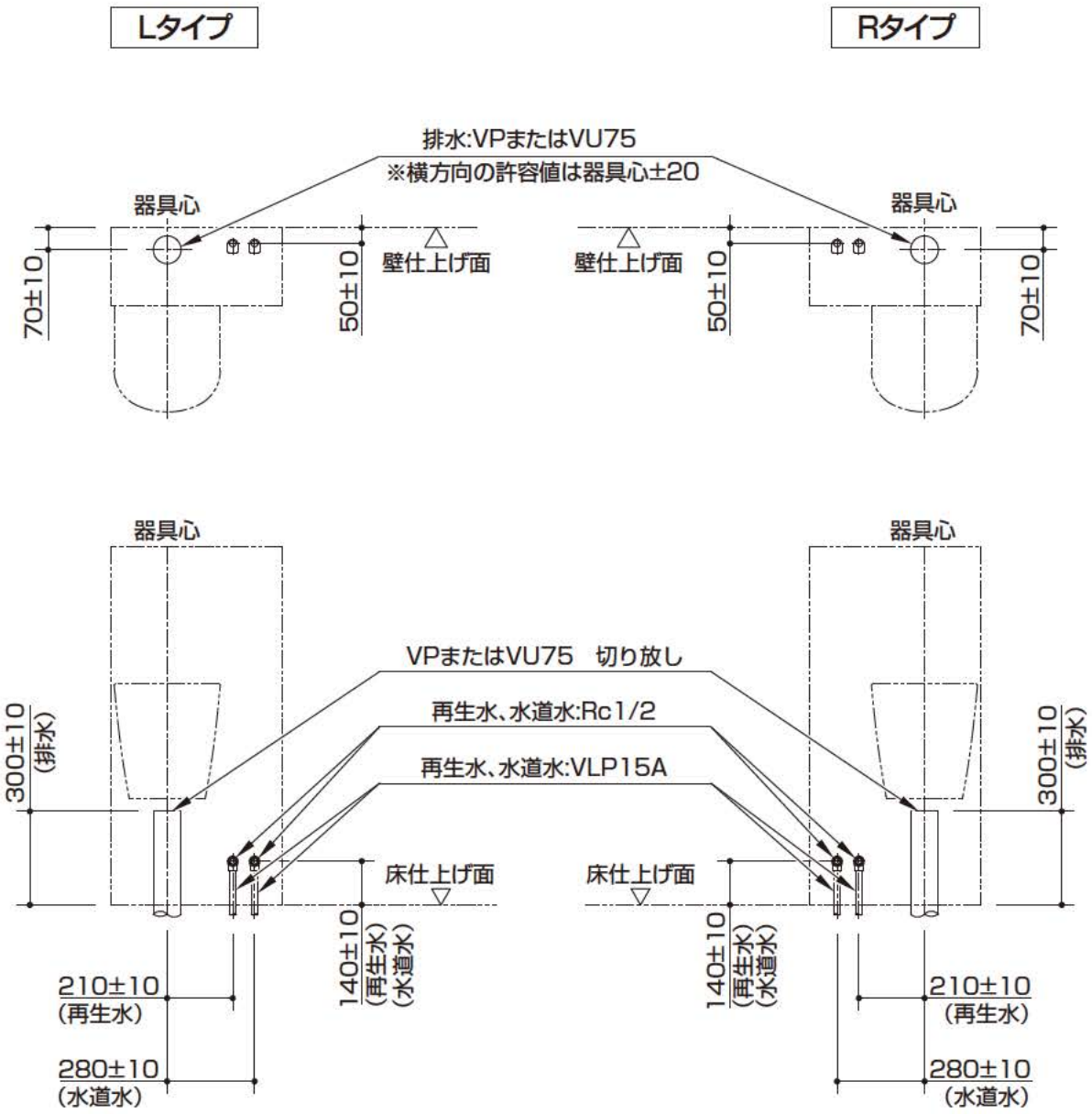
・給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
・商品の各仕様によって準備する配管の仕様が異なりますので、注意してください。
・給水は下記の圧力の範囲内で使用してください。
　最低必要水圧:0.05MPa(流動時)、最高水圧:0.75MPa(静止時)
　※快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめいたします。
・排水は下図に示す位置にVP75またはVU75切り放し(1カ所)で準備してください。
　排水管を横引きで引き回す場合は、順勾配1/100を確実に確保してください。
・配管は躯体壁などに確実に固定してください。

水道水、電気温水器あり仕様の場合



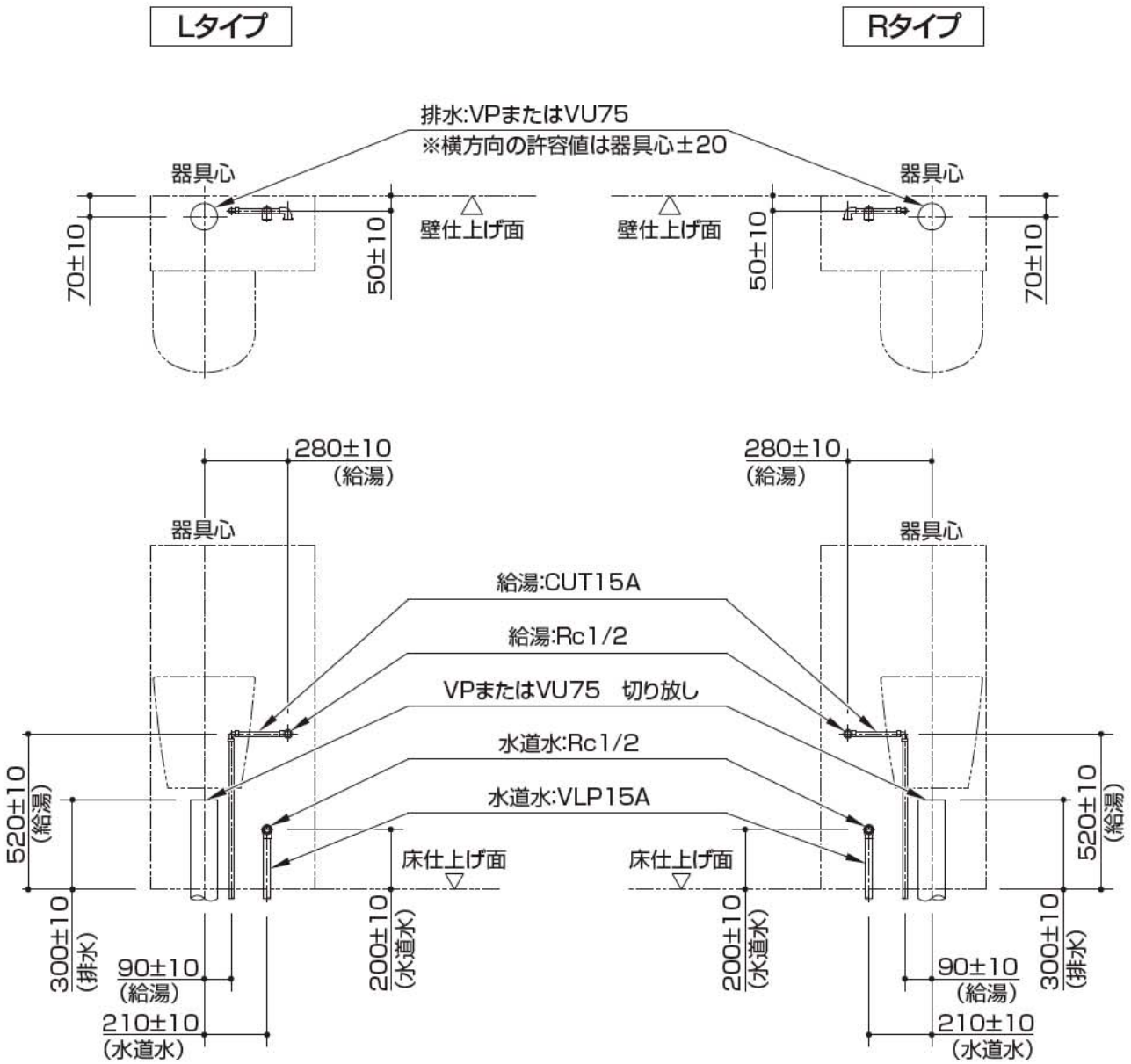
・給水は上図に示す位置に下記をそれぞれ準備してください。
・<水道水仕様>　Rc1/2(1カ所)でご準備ください。
　止水栓1カ所から分岐して電気温水器とセットタンクに接続します。
　※末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。

再生水、電気温水器あり仕様の場合



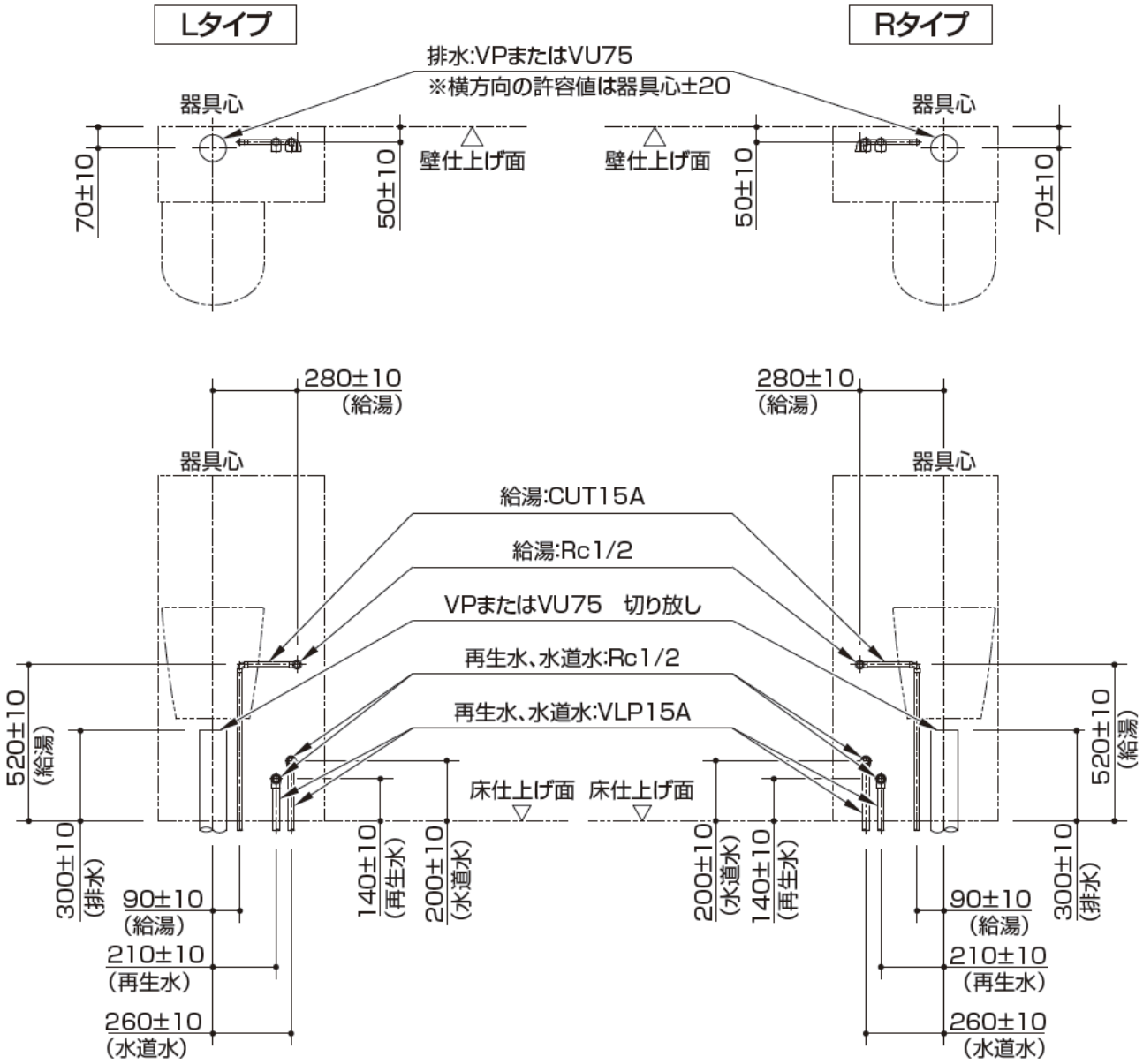
・給水は上図に示す位置に下記をそれぞれ準備してください。
・<再生水仕様>　Rc1/2(2カ所)でご準備ください。
　(水道水)止水栓1カ所から電気温水器に接続します。
　(再生水)止水栓1カ所からセットタンクに接続します。
　※末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。

水道水、電気温水器なし仕様の場合



・給水は上図に示す位置に下記をそれぞれ準備してください。
・<水道水仕様>　Rc1/2(2カ所)でご準備ください。
　(給水)止水栓1カ所から分岐してサーモスタットとセットタンクとシングルレバーに接続します。
　(給湯)止水栓1カ所からサーモスタットに接続します。
　※末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。

再生水、電気温水器なし仕様の場合

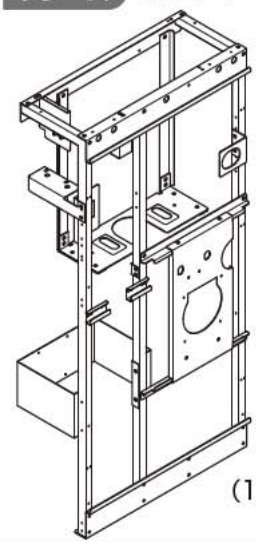


・給水は上図に示す位置に下記をそれぞれ準備してください。
・<再生水仕様>　Rc1/2(3カ所)でご準備ください。
　給水(水道水):止水栓1カ所から分岐してサーモスタットとシングルレバーに接続します。
　給水(再生水):止水栓1カ所からセットタンクに接続します。
　　給湯　　:止水栓1カ所からサーモスタットに接続します。
　※末端は必ず異種金属接続用継手を使用してください。

3.部品の確認

フレーム

フレーム STEP 1



(1台)

STEP 10

※フレームにテープ止め
【停電対応ありの場合】

結束バンド(1本)

※イラストはRタイプです。

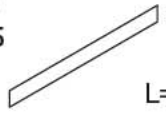
フィラー固定材
STEP 2

フィラー固定材
(4個)

フィラー挟み込み材
(4個)

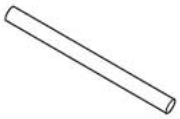
バインド
タッピンねじ
φ4×8 (4本)

幅木
STEP 5



L=600㎜
(1枚)

バキュームブレーカー接続セット
STEP 9



連結ホース
(1本)

ホースクランプ
(1個)

フレーム部部品セット

フレーム壁床固定セット STEP 1

【共通】

トラスタッピンねじ
φ5×50(4本)

大形角
呼び径6
(4個)

アプセットタッピンねじ
φ8×30(4本)

【耐水合板下地壁固定用】

ねじ受材
(4個)

【コンクリート壁・床固定用】

樹脂プラグ
(4本)

両面テープ STEP 5・6・13

【底目地材・幅木用】

(1個)

ライナーセット

t=1.0
(5枚)

t=3.0
(5枚)

膨張水処理部材セット STEP 10

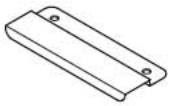
排水エルボ (1個)

ホースセット
L=970㎜
(1本)

(2個)

ワッシャー
(1個)

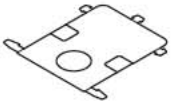
底目地受材 STEP 13



底目地受材
(2個)

バインド
タッピンねじ
φ4×8(4本)

カバー(B) STEP 9



(1個)
※電気温水器ありの場合のみ
タンク段付き部に取り付け

ソケット押え板 STEP 3

(1個)

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

便器洗浄ユニット用ねじセット STEP 10

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

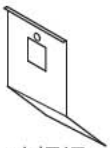
バインドタッピンねじ
φ4×16(1本)

電気温水器ねじセット STEP 9

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

※電気温水器ありの
場合のみです。

水切板 STEP 9



水切板
(1個)

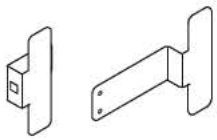
使い方ラベル STEP 14

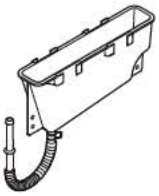
(1枚)

※全ての作業終了後に
張り付けを行います。
大切に保管してください。

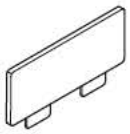
フレーム(つづき)

水受けトレイセット STEP 9


水受けトレイ支持材A・B
(各1個)


水受けトレイ
(1個)

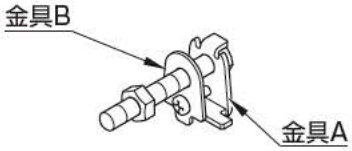
ロッドホルダー
(1個)


水受けトレイガイド
(1個)

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

陶器固定部材セット STEP 8

ブラケット
(1個)



陶器固定ボルト
(2本)

【組付けねじセット】

アプセットタッピンねじ
φ6×30(2本)

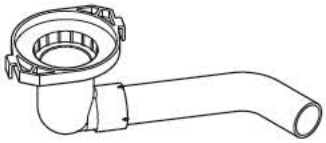
全ねじ六角ボルト(大)
M8×60(2本)

平ワッシャー
(4個)

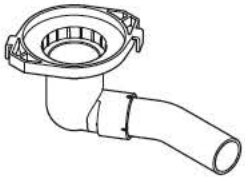
六角ナット
(2個)

タンク接続管 STEP 9

【点検口が左の場合】


(1個)

【点検口が右の場合】


(1個)

タンク固定板セット STEP 9

タンク固定板
(1個)

【調節ねじセット】

ローレットねじ
M6×16(4本)

ローレットねじ
M6×30(4本)

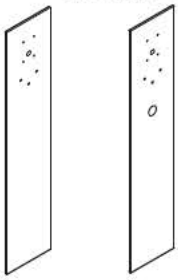
角座金
(2個)

前板

前板セット STEP 6・7・10・11・13

前板(汚物流し裏)
(1枚)

【停電対応ありの場合】


前板(紙巻器裏)
(1枚)

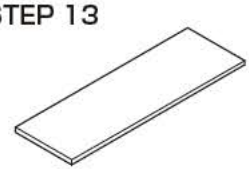
フィラー
(2本)

底目地材
(1個)

バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

甲板

STEP 13

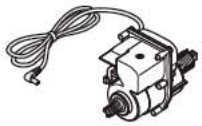

甲板(1枚)

面ファスナー
透明と黒
各4個

リモコン便器洗浄ユニット・排水継手類

リモコン便器洗浄ユニット ※同梱の木ねじ（25㎜×4本）は使用しません。

STEP 10


便器洗浄ユニット（1個）

受信ユニット（1個）

ACアダプター（1個）

ストッパーL（緑）（1個）

ナット（1個）

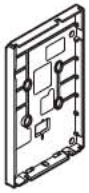
皿ねじ（ストッパー用）φ3×10（1本）

洗浄レバー（1個）
※停電対応あり の場合は使用 しません。

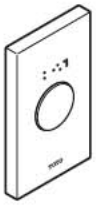
シール（1枚）

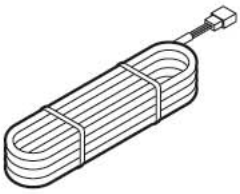
タッチスイッチ

STEP 11


取付ハンガー（1個）

小ねじ（1本）

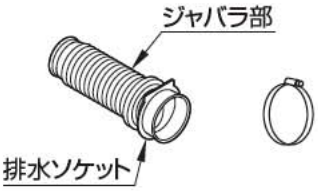

スイッチ付きカバー（1個）


信号線（1個）

※説明書など同梱

単独排水継手

STEP 3



排水継手（1個）

ホースバンド（1個）

STEP 8

排水パッキン（1個）
※説明書など同梱

止水栓・継手

STEP 4・14

※タイプによって組み合わせが異なります。
STEP 4のページを参照ください。

アングル型止水栓（1個）

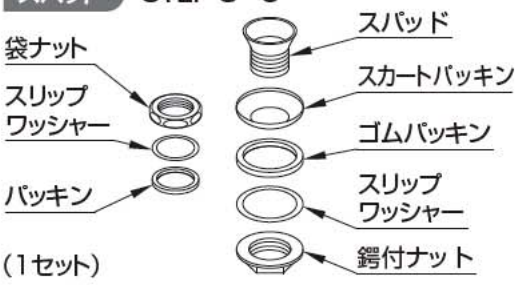
止水栓（1個）

開閉工具（1個）

エルボ（1セット）

分岐金具（1セット）

スパッド STEP 8・9



（1セット）

フレキ管 STEP 4

フレキホース

フレキ管

〈数量〉

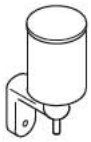
電気温水器あり仕様の場合	L=900mm（フレキホース）	1本
電気温水器なし仕様の場合	L=500mm（フレキ管） L=600mm（フレキホース）	各1本

水石けん入れ STEP 12

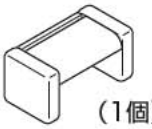
※水石けん入れありの場合のみ

皿タッピンねじ φ4.5×30（2本）

取付座（1個）


水石けん入れ（1個）

紙巻器 STEP 12


（1個）

座金組込なべタッピンねじ φ4.5×25（3本）

停電時洗浄レバー STEP 10

※停電対応の場合のみ

ワイヤーユニット（1個）

洗浄レバー（1個）

ホースクランプ（1個）

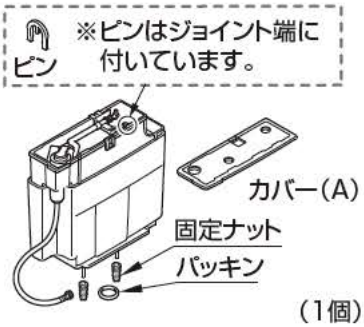
汚物流し

STEP 8

汚物流し本体（1個）

セットタンク

STEP 9・10

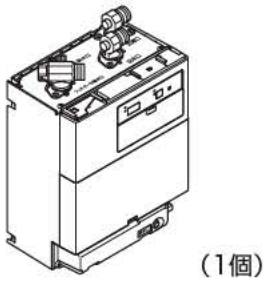


※カバー（B）はフレーム部部品セットに同梱

電気温水器

STEP 9

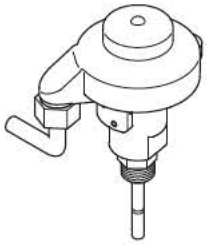
【電気温水器ありの場合】



※取付部材、説明書など同梱

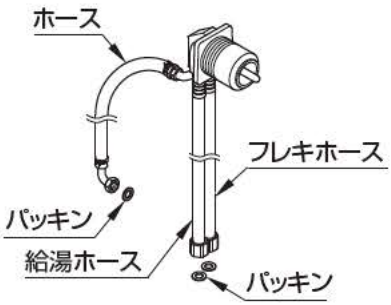
壁付シングル水栓

バキュームブレーカー STEP 9

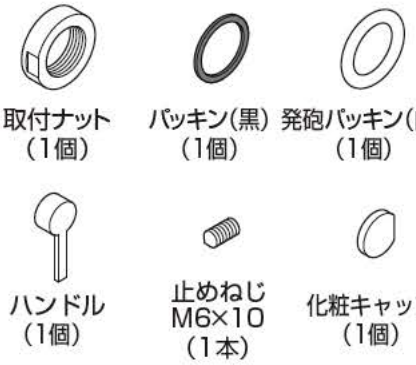


バキュームブレーカー
（1個）

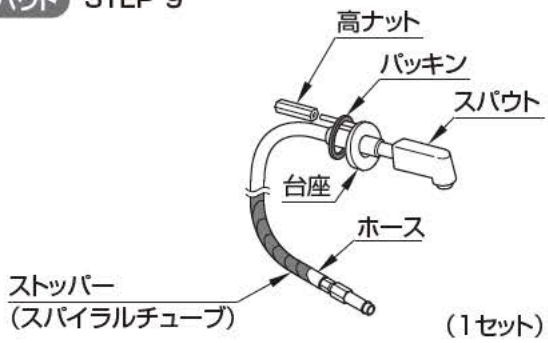
シングルレバー本体部 STEP 9



（1セット）



水栓スパウト STEP 9



側板（別売品）

STEP 1・2・5